

## 技術経営特論

2 単位 (選択)

## Management of Technology

山中 英生・教授 / 知的力学システム工学専攻 建設創造システム工学コース 社会システム工学講座

森本 恵美・助教 / 知的力学システム工学専攻 建設創造システム工学コース 社会システム工学講座, 非常勤講師

**【授業目的】**自動車産業の生産マネジメントについて、「研究開発」、「生産管理」、「調達」、「品質管理」、「マーケティング」、そして「異文化経営」などの視点から多面的に理解する。

**【授業概要】**「生産マネジメント」に関する総合的かつ専門的な知識の提供を行う。特に「自動車産業」、その中でも「本田技研工業(以下ホンダ)」の生産マネジメントをケースに取り上げ、「マネジメント」における「技術」の位置づけと、その重要性を理解するための授業とする。授業は講義、ケース報告、およびケーススタディから構成され、講義は出口、ケース報告はゲストスピーカー(ホンダOB講師)、ケーススタディは出口とゲストスピーカーの連携のもと実施する。

**【キーワード】**マネジメント, 技術経営

**【関連科目】**『ニュービジネス特論』(0.5), 『長期インターンシップ(M)』(0.5), 『ビジネスモデル特論』(0.5), 『プロジェクトマネジメント』(0.5)

**【履修上の注意】**受講者は毎回必ず十分な予習を行った上で授業に臨むこと。また、最低でも毎回一人一回は何らかの発言を行うこと。

**【到達目標】**

1. 「マネジメント」の基礎知識を習得する。
2. 「マネジメント」における「技術」の位置づけと、その重要性を理解する。
3. ケース・スタディやビジネス・ゲームを通じて、現場において絶えず発生するさまざまな課題の解決方法を学ぶ。

**【授業計画】**

1. ガイダンス
2. 講義「技術経営とは」
3. ケース報告「ホンダの研究開発」
4. ケーススタディ「新車開発指令」
5. 講義「生産・調達活動」
6. 講義「品質管理」
7. ケース報告「ホンダの生産活動」、「ホンダの調達活動」
8. ケーススタディ「海外工場を計画せよ」
9. ケース報告「ホンダの品質管理」
10. ケーススタディ「品質不良を再発させるな」
11. 講義「マーケティング戦略」

12. 講義「異文化経営」

13. ケース報告「ホンダの商品企画～二輪車を中心に～」

14. ケース報告「ホンダ国際化の軌跡」

15. ケース報告「ホンダの人事管理」

16. まとめ、および質疑応答

**【成績評価基準】**授業中の発言(40%)、および中間・期末レポート(合計60%)で評価する。

**【教科書】**特に使用しない。毎回資料・レジュメ等を配付する。

**【参考書】**授業中に数冊紹介する。

**【授業コンテンツ】**<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216616>

**【対象学生】**博士前期課程に在籍する全学生のうち、「ニュービジネス概論」、もしくは「ニュービジネス特論」の単位を修得済みの者を対象学生とする。また、集中的な学習を行うために、受講者数の制限を行う(20~25名を上限とする予定)。受講者多数の場合は何らかの手段で選抜を行う。

**【連絡先】**

⇒ 山中 (A410, 088-656-7350, [yamanaka@ce.tokushima-u.ac.jp](mailto:yamanaka@ce.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: オフィスアワー: 年度ごとに学科の掲示板を参照のこと)

⇒ 森本 (創成学習開発センター, 088-656-7619, [emi.morimoto@ce.tokushima-u.ac.jp](mailto:emi.morimoto@ce.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: 月~木(10時~16時))

**【備考】**この授業では、「研究開発」、「生産管理」、「調達」、「品質管理」、「マーケティング」、そして「国際人事管理」などの職務に携わってこられた7名のホンダOBを講師として招へいし、ケース報告を行う。こうした試みは全国的に見てもきわめて珍しく、貴重な授業であることを付言しておく。なお、受講希望者は、事前に開催予定のガイダンスに必ず出席すること。日程は別途指示する。